

WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(1)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。



伊東 佳奈 渋谷教育学園渋谷高等学校1年時に留学 **アメリカ**

2011年度WYS交換留学生
カリフォルニア州Sheldon High School留学

●学生生活の始まりについて(8月期・9月期のレポートより)
前期の履修科目は、Chamber Orchestra, English, Biology, Japanese. Japanese (上級)は選択科目、地域カウンセラーに進められました。毎日授業が同じなので、毎日顔を会わせるから友達が出来たけど、勉強が大変!ホストブラザーは勉強しなくても、自分はずっとして、1日に2から3時間勉強しています。勉強づくめでいいのでしょうか?! Biologyは用語が分からない。とりあえず辞書で調べて、ある程度予習をしないと授業に間に合わない。Essayもあるし、家での勉強が大変です。クラブはJapan ClubとKMC (Korean Music Club)に入りました。毎週Meetingがあります。まだ始まったばかりですが、KMCでは、ダンスをするつもりです。ショーケースがあるので、そこで発表するみたいです。どっちのクラブも楽しいです。

●英語の上達に関して、注意や実践していること(12月期のレポートより)
話すこと。友達と、それから家でテレビを見ている時とか。やっぱり前より話せるから上達した、でしょう。それから本を読むこと。前期、Twilightシリーズを全て読みました。そのおかげか、Text bookを読むのも、そんな苦ではないのですね。分からない単語はとりあえずはつとけばいいのです!そしたら、何が言いたいかわかるようになります(きっと)。あともう一つ、8月24日から本当に毎日書いているのですが、それをJapanese→Englishに。楽しいですよ。気分が浮かない時は、日本語だったりですけどね。

日本から持参して良かったもの
バイオリン、紙の辞書、教会用の正装・靴、料理のレシピ、アルバム

必要なかったもの
ノート(バインダー用の穴がある紙を使うから本当に5冊もいらなかった)



山中 梨菜 聖霊高等学校1年時に留学 **アメリカ**

2011年度WYS交換留学生
カリフォルニア州Excelsior Public Charter School留学

●ホームシックにかかりましたか(11月期のレポートより)
ホームシックにはかかっていません。最初のうちは、すべてが新鮮で初めての事ばかりで、多分ホームシックにかかる暇がなかったんだと思います。今は、大体の事に慣れてきたと同時に、ホスト、友達とも仲良くなって毎日楽しく過ごせています。でも、ホストシスターがホスト両親と楽しそうに話していたりすると、日本の家族に会いたくなる時があります。あと7か月、アメリカで楽しく過ごして、日本の家族に会えることを楽しみにしたいと思います!

●クリスマスはどのように過ごしましたか(12月期のレポートより)
まず、クリスマスイヴの夜、小さい子が寝た後にツリーの下にプレゼントを置きました。私のホストファミリーは人数が多い(10人家族、子供は18,16,15,3歳と0歳の双子)ので、本当にたくさんのプレゼントでした!クリスマスの日の朝はいつもより早く起きてまず皆でプレゼントをあげました。アメリカではプレゼントは一つというわけではなく、たくさんもらいます。開けるのに時間がかかります。その後、クリスマスパンケーキ(ホストはそう呼んでいました)を食べました。日本と違い、シロップではなくジャムとクリームで食べました。とてもおいしかったです。ホストマザーは、Christmas Dinnerの準備で忙しそうでした。Dinnerはハム、ブレッド、コーン、ポテトと野菜スティック、ちょうどThanksgivingのターキーがハムに変わった感じでした。後は、ゲームをしたり、音楽を聞いたり、英語を見たり、アットホームな時間でした。私は、3歳の子がもらったおもちゃと一緒に遊んだりもしました。とにかくとてもにぎやかなクリスマスでした!

橋本 京樹 大阪府立豊中高等学校2年時に留学 **アメリカ**

2012年度WYS交換留学生
ニューメキシコ州Cibola High School留学

●今学期の時間割(8月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		スペイン語I	代数II			スペイン語II
2		〃	〃			代数II
3		PE I	英語11	月曜日	火曜日	PE I
4		〃	〃	曜日	曜日	英語11
5		US歴史	US歴史	同じ	同じ	US歴史
6		ギター I	物理&化学			物理&化学
7		〃	〃			ギター I

生徒数約2000名、9学年~12学年、2学期制
必修科目:数学系及び理科系の教科、アメリカ史

●学校の様子について(8月~11月期のレポートより)
現在難しいと感じている教科はEnglish 11. 読んだこともないような物語(The Crucible)を一から訳していかないといけないし、テストもハイレベル。ユニークな授業はChemistry & Physics、授業時間の30分ぐらい前には終わって後は自由時間と感じます。11月、現状でまだ友達との会話が完全に理解できません。学校みんなが、自分が日本人だということに気がついた時は、みんなが質問してきて答えるのが大変でした。アメリカ人にとって、日本はなかなか印象がいいようで、日本の悪口やおもしろくっているのは聞いたことがありません。日本のお菓子もそこそこ人気がありますが、人によって全く異なります。日本の高校生との違いは、「外見は大人っぽいけど、中身は違う」という感じ。普通に車を運転したり、普通にクレジットカードを持っていたりして、日本の高校生と比べると、かなり大人な行動をしているけれども、「何でこんな気分かへんねん!」というようなことがよくあったり、2ケタ×2ケタの筆算を器用に電卓で計算してたりしておもしろいです。あと、モールとか行くと、家族連れが良く目にします。日本ではあまり見られない光景かな?と思います。ところで、ホームシックは全くかかっていません!かかるようなものを見ることを避けていますから(昔の携帯とか、寄せ書きとか)。Yahooの日本ニュースとか見ても、全然何とも思わないです。

●学校のクラブ活動について(8月期のレポートより)
秋:アメフト、サッカー、バレーボール、ゴルフなど
冬:水泳、バスケットボールなど 春:テニス、ゴルフ、陸上など



兼子 美帆 山口県立下関西高等学校2年時に留学 **アメリカ**

2012年度WYS交換留学生
カリフォルニア州Mar Vista High School留学

●ホストスクールについて(11月のレポートより)
みんなが言うように、先生たちと生徒の距離はとも近い。海外ではファーストネームで呼ぶのが当たり前なので、それもあるかと思えます。年中活動する部活もありますが、fall sports, winter sport, spring sportsというように決まった期間だけ活動するものもあります。私はfall sportsとしてテニスをしていました。テニスをしている時は、fall sportsということ知らなくて、今日がラストゲームだからねーって言われた時はえっ!?ってなりました。今度、トロフィーがもらえるらしいです。なんか、一番頑張ったで賞みたいなやつですけれど...今は、Water Poloをしています。けっこうハードなスポーツです。朝は5時起床→6時から7時朝練(もちろん水に入ります)→7時30分学校→2時45分から5時練習。正直言って、帰ってから勉強する体力はありません。私の学校の男子生徒はほとんどスケボーを持っています。何故かはよく分かりません。乗っているときと乗っていないときの差があまりに大きいです。あと、やっぱり男の子も女の子もフレンドリーです。日本じゃ、男子は男子、女子は女子ですが、こちらでは何というか、男女で仲良し~!!みたいな感じですよ。

●滞在地域について(10月期のレポートより)
私が滞在しているのはインベリアルビーチというところです。メキシコの隣です。私がこちらに来たから1回だけバラバラと雨が降りましたが、基本晴れです。朝はすっごく寒いですが、お昼頃はとても温かいです。メキシコからの移民が多い地域でもあり、学校ではほとんどの人がスペイン語を話せます。この町には、タイ、日本、メキシコ、フィリピンなどいろんな国のレストランがあります。ホストファミリーと良くボランティアで、ゴミ拾いや草抜きなどの活動をしています。

日本から持参して良かったもの
電子辞書、使い慣れたシャープペン、消しゴム、世界史の教科書、資料集!!、薬

必要なかったもの
下敷き、日本スタイルのノート

原田 和美 広島市立安佐北高等学校2年時に留学 **ニュージーランド**

2012年7月期WYS交換留学生
ニュージーランド Rangitikei College留学

●家庭生活について(1月期のレポートより)
最初からホストマザーがとにかくたくさん話しかけてくれました。夕食後などは食器洗いをしながらおしゃべりをしています。私自身は、とにかく話を続けるように努力しています。まだまだアイコンタクトが苦手な部分ではありますが頑張ります!
ホストファミリーへの感謝の気持ちは、クリスマスなどのイベントでカードを作って渡したり、会話の中で「何楽しんでいる」というような言葉を言うようにしています。最初のホストファミリーで後悔したこと(積極的になれなかった、もっと気持ちを伝えれば良かった、など)を反省して、今のホストファミリーと良い関係が築けるように頑張ります。

取って良かったと思う教科:

Music: ピアノを弾いていると「すごだね」って声をかけてもらって、友達が出来ました。(最初は学校で一番楽しいことがピアノでしたが、今は友達とおしゃべりすることです)
Math: 英語が分からなくても、何となく授業内容が分かりました。2カ月ぐらいてからは友達に分からないところを教えるようになりました。

良くなかったと思う教科:

Technology of Food (Cooking): 3学期から入ったということもあり。授業が全く分かりませんでした。実習を期待していましたが、週に1度だけでした。残念。

日本から持参して良かったもの

かわいい文房具 (コミュニケーションにつながります!)、ポケットティッシュ、コロコロ持ってくればよかったもの
サングラス (サイズが日本の方があう)、薄手の上着 (1年間ずっと必要だと思います)



山本 蒼 岡山県立総社南高等学校2年時に留学 **ニュージーランド**

2010年度7月期WYS交換留学生
ニュージーランド Tararua College留学

●学校生活について(1月期のレポートより)
学校生活の中で一番楽しいことは、友達や先生方とおしゃべりすること。写真を撮ること。英語の授業が理解(わかる)自分があること。。。学校は、何もかもが楽しいです!! 嫌なこと、ありません!! 嫌なこと?? そんなのありません!!! 好きな科目は地理。得意教科は、くやしいですが、数学です。(日本で習ったところをもう一度やるので簡単なのです。つまり。)学校の図書館はそれほど利用しませんが、町の公共図書館にはよく行きます。

●今までの留学生生活を振り返って(2月期のレポートより)
あと、4カ月だなんて信じられないです。あっという間でした。すごく楽しい時間でした。友達。日本の子とは違い、皆、留学生や外国からやって来た人に慣れていて、とても親切です。簡単ではないですが、難しくはないと思っています。(友達を作ることは)
自分の会話力が少し上達したと思えるのは、やはりたくさん誰かと実際に話した結果だろうと感じます。女の子はおしゃべりが大好きで、初めは全くもって聞き取れなかった言葉、音、発音がだんだんと聞けるようになってきます。すると、よくつかわれる熟語や語彙がいきなり自分も英語力、会話力に影響していきます。同じ意味でも違う言葉というのもとても興味深いです。語彙が増えて、知れば知るだけ、理解が増えることが増えますし、皆の会話に混じって楽しむことができます。失敗をしてもいい、間違いは次にくり返さなければいい、とにかく積極的にどんどんやってみるのが一番だと身をもって学びました。『言葉』は話してなんぼ、私のHOST FATHERがよく言います。私も大変納得です。



堤 涼太 啓明学院高等学校2年時に留学 **ニュージーランド**

2012年7月期WYS交換留学生
ニュージーランド Dannevirke High School 留学

●今学期の授業について(2月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:45 ~ 9:00		←----- Tutor Group ----->				
9:00 ~ 10:00		ICT	Study	ESOL	PHYSICS	ENGLISH
10:00 ~ 11:00		MATH	ICT	Study	ESOL	PHYSICS
11:00 ~ 11:30		←----- Interval ----->				
11:30 ~ 12:30		ENGLISH	MATH	ICT	Study	ESOL
12:30 ~ 1:30		PHYSICS	ENGLISH	MATH	ICT	Study
1:30 ~ 2:20		←----- Lunch time ----->				
2:20 ~ 2:30		←----- Tutor Group ----->				
2:30 ~ 3:30		ESOL	PHYSICS	ENGLISH	MATH	ICT

7月はPEとか英語をあまり使わない教科を取りましたが、今学期は将来の夢につながるような教科を選びました。パイロットになりたいので、MathやPhysicsを取ったほうが良いと勧められ、自分でも取ろうと思いました。そのPhysicsは英語の単語や説明が難しいです。友達作りは、努力しています。サッカー部に入って話しかけたり、授業で分からないところを聞いてみたり、でも基本的には話しかけてくれます!

●今までの留学生生活を振り返って(2月期のレポートより)
ようやく学校や日常での生活が問題なく出来るようになりました。みんなと話ができ楽しいです。でも、留学生生活は後半もないので、ラストスパートでもっと頑張っていかなければいけないと思っています。自分で言うのも何ですが、結構頑張っていると思います! 日本に帰って成長した姿を見せることが出来るよう、留学生生活を後悔せずに終わらせたいです。帰りたい気持ちも反面、帰たくない気持ちも反面、という感じです。



小泉 恵美 東京都立白鷗高等学校1年時に留学 **ニュージーランド**

2011年度WYS交換留学生
ニュージーランド Wairarapa College留学

●Host Countryでの食べ物についてと物価(7月期のレポートより)
フィッシュ&チップスとソーセージロール。この2つの料理はニュージーランドで初めて食べました! さらにびっくりしたことは、パンにポテトチップスをはさんで食べる人がいます。前に友達に「それおいしいの」って聞いたら、「Kiwiではみんなやってるよ」と言われました!! パンにソーセージをはさんで食べるのも日本で見たこと事なかったのがびっくりしました。

ニュージーランドの物価	
バス代: 10回 \$14	Cell Phone: \$20
日本に手紙を送る切手代: \$10	
プール代: 1回につき \$3.6	映画代: \$11
ランチ代: \$8 (サンドイッチ \$3~\$4、パイ \$4、マフィン \$3)	
★たいていの月は約\$70ぐらい使います。時々遊びに行行って買い物したりすると\$120くらいになります。	

●あと残り3カ月です(8月期のレポートより) I LOVE NZ♥
本当に 本当に 本当に時間が経つのが早すぎます。ニュージーランドに来てもう7カ月にもなるんです!!! ニュージーランドに来て、たくさんの人達に助けられて、本当に楽しい時間を過ごしています。たくさんの人達に「ありがとう」を言いたいです! 7カ月ここに滞在して「ニュージーランド」という国をたくさん知ることができました。私、すごくこの国が大好きです。正直、帰たくないです。。。でも、ニュージーランドに来て日本の良さを改めて感じました。私の家、homeは日本です!!! 留学は英語を学ぶためだけでなく、文化を学ぶためでもあることを改めて知りました。本当に本当にニュージーランドに留学して良かったです! ニュージーランドで出会った人、出会った物、できた思い出、全て大好きで、全て宝物です!!! ニュージーランドが私の第2の故郷になりました。

WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(2)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。

織田 満鈴 富士見高等学校1年時に留学

ドイツ

2012年度WYS交換留学生
チューリンゲン州 KÖlleda Gymnasium 留学

●時間割と学校生活(9月～11月期のレポート)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:00 ~ 8:45		Englisch	Chemie	Dentsch	Sozial	Mathe
8:50 ~ 9:35		Englisch	Biologie	Dentsch	Geschichte	Mathe
9:50 ~ 10:35		Kunst	WR	Physik	Mathe	Astronomie
10:40 ~ 11:25		Kunst	WR	Latein	Biologie	Physik
11:45 ~ 12:30		Latein	Sport	Mathe	Ethik	Musik
12:35 ~ 13:20		Latein	Sport	Englisch	Ethik	Dentsch
13:40 ~ 14:25		Geschichte	---	(Chor)	Sport	Geographic

クラスのみならず同じように、すべての科目をとっています。選択科目は、Latein, Ethik。早く学校生活になじみ、友達を作ったので、初日から隣の女子に「ノート見てもいい?」と聞いたり、分からないことを色々質問したりしました。次の日からは皆で中庭のようところで15分休みや20分休みにサンドイッチを食べたりしています。先生が授業中とても早口でしゃべる上、板書もなぐり書きで読めないこともあるので、休み時間に友達にノートを書かせてもらっています。始業時間が午前8時とても早いです。授業では、自分の考えや意見を述べる生徒に、先生も含めみんなが耳を傾けます。一人一人の個性、考え方を大事にしているといった印象を受けました。難しい教科は Geschicht (歴史) と Ethik (哲学)、歴史は時代背景を理解すること、哲学は内容を深く理解し考えることが難しいです。評定は、学期ごとではなく、毎回のテストやプレゼンテーションの度に出来ます。日本の学校と比べ、圧倒的にプレゼンテーションを行う頻度が高いです。

●Do you have any news? (10月期のレポートより)

学校のコーラス、教会のハンドベルに引き続き参加しています。ピアノレッスンも受けています。10月6日に近くの教会でピアノのコンサートを開かせて頂きました。そのことが、地元新聞の記事になり、また新聞記者の方に日本人留学生として興味をもって頂き、数日後学校で再び取材を受けて音楽室でピアノを弾いている写真と記事を新聞の一面に載せて頂きました!



上小澤 圭那 大阪府立千里高等学校3年生時に留学

ドイツ

2011年度WYS交換留学生
バイエルン州 Theodolindengymnasium 留学

●友人について・ドイツ語の上達について(9月期・11月期のレポートより)

とにかく頑張るのみ。ありきたりですが、やっぱり笑顔は大切。とりあえず Hello! です。あとは折り紙とか、日本のマンガ、アニメは話題になります。少しでも知識を入れておくといいかも笑。色々なことに出来るだけ参加して、顔見知りを増やす!! あ、あと、名刺を作ったのは良かったです。ドイツ語はとにかく話す、文法は、基礎さえ分かればすぐ伸びます。多分、私はいっぱいほめられたらすぐ上達しました。笑。今のシスターは日本語を勉強しているので、お互いに問題を出し合ったりできます。

●学校生活・家庭生活について(1月期のレポートより)

授業で現在難しいと感じている科目は3教科。倫理は言葉がすごく難しいです。カントの哲学です。英語Iは、シェイクスピアのマクベス。難しい。社会は先生と生徒の議論が主なので、ついていくのは本当に難しいです! ホストファミリーとは良く話します。私のボキャブラリーは正直多くはないのですが、マザーと日本の大学、医療、就職や原発など少し難しい話も時々します。シスターとは学校や日本の話。ファーザーとブラザーはそんなに話をしないのですが、日本の音楽、政治、サッカーの話。土曜日は、博物館に行ったり、金城の森を散歩したり、演劇部に行ったりしています。基本は、シスターとお出かけ。日曜は家族で出かけたり、友達とカフェでお話したりします。

1日のスケジュール

5:30	起床	16:10	お菓子作り、友達と遊んだり、インターネットしたり、宿題をしたり
6:45	学校へ出発 (電車で約20分)		
7:35	授業終了	20:00	夕食
14:40	授業終了	21:00	入浴
15:30	帰宅・昼食	22:30	就寝

森田 和斗 大坂夕陽丘学園高等学校2年時に留学

イタリア

2012年度交換留学生 イタリア Istituto Marcelline 留学

●ホストファミリーについて(11月から12月期のレポートより)

家族構成はホストファーザー、ホストマザー、ホストシスター、ドイツからの留学生。ホストファーザーとホストシスターは性格が良く似ていて喜怒哀楽が激しいです。ホストマザーはとてもおおらかな人です。ドイツからの女子留学生は、親切で優しい女の子です。家族の中で一番話すのはホストシスター、家族団楽でよく出る話題はドイツ人のホストシスターの部屋が汚すぎるということです! クリスマスは24日の夜に家族で夕食をとり、25日になるのを待って、25日0時30分になるとクリスマスプレゼントをあけて、みんなではしゃいだり、ゲームをしたり、とても楽しいクリスマスを過ごしました。

●今までの留学生生活を振り返って(1月期のレポートより)

イタリア留学もとうとう折り返し地点に入っても早く感じています。最初の方は、少しくじけて家(日本)に帰りたいと思ったことが何度もありました。今になってみると、なぜあんなに日本の家が恋しくなったのか分かりません。留学後3か月ごろになってイタリア語も段々と上達したと感じています。友達も増えました。学校の方はまだまだ勉強について行くのは少し難しいですが、学校の方も頑張っていきたいです!

中西 志門 明星学園高等学校3年生時に留学

イタリア

2011年度WYS交換留学生 イタリア Liceo Galileo Galilei 留学

●時間割と現在難しい授業について(9月期・10月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
1		Math/Fisics	Philosophy/History	Latin/Ita	Philosophy/History	Latin	Philosophy
2		Math/Fisics	Philosophy/History	Latin/Ita	Philosophy/History	P.E	History of Art
3		Latin/Ita	Fisics	P.E	Mathematics	Chemistry	Design
4		English	Chemistry	Latin/Ita	Latin	English	Mathematics
5		Latin/Ita	English	Religion	Chemistry	Fisics	-----

* イタリアでは時間割の変更が多く、日によって変わることもあります。

イタリア語・ラテン語: 文学なので、読解や言葉使い、さらに若干古いものもあって難しいです。

哲学: 単語がそもそも分からない。たとえ分かっていても恐らく理解できないでしょう。

数学: 根本的に何も分かりません。

●クラス風景・前期の学校生活を振り返って(11月期・12月期のレポートより)

私の学校はとても規律が取れているように思います。日本の学校では、授業中このように静かにし、先生がクラスに來たら起立するなど思いもよらない事です。また、休み時間が各1分、3時間の間に10分と圧倒的に少ないです。イタリアではテストは口頭と記述、プレゼンテーションがあり、いつあるのかは科目ごとに異なりますが、口頭試験はいつになるのか予測不能なので生徒は継続的に勉強をしなくてはなりません。クラブはないので、学校が終わり次第生徒は全員下校します。



石井 咲 埼玉県立和光国際高等学校2年時に留学

フランス

2010年度WYS交換留学生 フランス Lycee Sud Medoc 留学

今学期の時間割

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri
08:10-09:00		仏文	歴史	歴史		仏文
09:05-10:00		歴史			英語	仏文
10:10-11:00		歴史	TPE	上級英語	仏文	体育
11:05-12:00			(総合的な学習)	英語	英語	体育
13:00-13:50			仏文	英語	理科	
13:55-14:50			仏文		(選べる、物理/化学)	
14:50-15:45		数学	数学			
			上級英語			

来学期取得予定の教科: 美術・イタリア語(予定)

必修科目: 仏文・歴史・数学・英語・体育・理科・TPE

●友人について(9月期のレポートより)

ふはは。めちゃくちゃ話しかけています。フランス語で話かけることが一番良い方法ですね! 日本に興味を持っていてくれる子がたくさんなので、自然と友人も増えます。学校のクラブ活動ではなく、地域が運営する活動がフランスにはあります。サッカー、合気道、柔道、ダンス、などなどです。

●授業の雰囲気・前期を通して学んだこと(11月・12月のレポートより)

皆、授業中とても静かで、真面目。宿題も多いですが、別に苦ではないです。テストがいっぱいあり、20点満点です。先生と生徒は慣れ合わないですが、先生はとってもやさしいです。前期を通して学んだことは、留学しても自然と話せるようにはならないという事。結局、環境が良くなるだけで、自分の努力が必要なる事。意外にきついですね。楽しいけど。。。来学期は、もうフランス語も分かるようになってきたので、仏文や歴史の授業で発言していきたいです。

WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(3)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。



Peter ADOLFSSON

2011年度WYS交換留学生

出身高校：Katedralsskolan, Linköping, Sweden

留学先高校：神奈川県立座間総合高等学校（神奈川県・座間市）

スウェーデン

日本人にスウェーデンの高校を説明したら大体日本人が「大学みたい」と言います。スウェーデンの高校では、いろいろな教科の選択ができます。授業の時間割もとてもフレキシブルです。時々一時間半の授業があったり、休憩時間が長くなることもあります。朝のHRは別ですが、教室は教科により移動します。学校の始まる時間は曜日によって異なります。授業スタイルや内容、そして学校のルールも日本と違います。日本に来る前に日本の学校がすごく厳しいと聞きましたが、多くのクラスメートはよく授業中眠ってしまいます！最初にとってもびっくりしました！スウェーデンの学校で眠ったら、先生に怒られます。しかし、制服や洋服のルールはありません。授業中、果物や飲み物も大丈夫です。学校の宿題も日本の学校と違います。試験が少ないですがたくさん宿題があります。たとえば、感動させるポエムを選んで、なんでそのポエムが感動させるかを考えることが宿題になり、クラスでプレゼンテーションをすることになります。また作文も多いです。授業中、先生はいつも生徒に質問をするので、ちゃんと答えることが大切です！日本の学校になれた日本人には最初少し難しいと思いますがとても面白いです！

スウェーデンの学校では部活がありません。学校が終わったらみな家に帰るか、友達と遊びます！スウェーデン人は友達と遊ぶ時、別に何もしません。家に行つてしゃべる事をよくします。また、家に行けなかったら、カフェでおしゃべりをします。スウェーデン人はコーヒーやお茶を飲んで甘いものを食べてしゃべることが大好きです。スウェーデン語で「フィカ」と言います。

日本の学校へはじめて行った時、皆がほくのことをとても気にしました。スウェーデンでは外国人が多いので外国人はあまり珍しくないのですが、日本では外国人のことが気になる高校生が多いと思います。スウェーデン人は日本人と同様に少し人見知りですが、スウェーデン人に対してオープンでフレンドリーになるようにすればたくさん友達を作れると思います！

Julius SELIGSON

2010年度WYS交換留学生

出身高校：Ressu Upper Secondary School, Helsinki, Finland

留学先高校：川崎市立橘高等学校（神奈川県・川崎市）

フィンランド

僕の名前は、ユリウス。フィンランドから日本に来て8カ月が過ぎました。日本での高校生活にも慣れてきましたが、これから留学をする日本の生徒達のために、僕はフィンランドの高校生活について話をしたいと思います。フィンランドでは、9年間の小中学校の義務教育が終了すると、ほぼ全員の生徒達が高校へ進学します。高校には大学進学を目的とする普通高校と、職業教育を目的とする専門学校があります。フィンランドでは日本と異なり、無料教育が基本、例外として教科書は自分で購入します。教科書は、新しいもの買うこともできますが、古本を買っても、また先生に貸してもらうなど色々なケースがあります。

フィンランドでは日本と同様にホームルームがありますが、それはお知らせのためだけであり、一週間に15分ぐらいの短いホームルームをさせています。生徒たちは、クラス単位で授業を受けるわけではなく、個人で自分の履修コース(クラス)を選択します。高校を卒業するには、75コースをパスしなければなりません。通常1年に30~35コースを受けるのは普通ですが、受けるコース数に限界はなく、また高校は必ずしも3年間という教育年数ではなく、2年間でも4年間でも可能です。ですから、留学すると合わせて5年間という高校期間も可能になります！！学校にいる時間は大体日本と同じですが、日本のように部活動はほとんどありません。同好会のようなものがありますが、学校のより異なります。授業のスタイルは日本と似ていますが、話し合いが多く、また発表する機会もたくさんあります。コース制度なので、生徒達は自分の履修クラスに移動します。制服はなく、学校時間であっても、校舎から出てもいいなど、日本に比べてルールの方がそんなに厳しくありません。ですから、お昼に外食をするのも可能です。学校には無料の給食があります。部活がないので、授業が終わると生徒達は家に帰ったり、友達と街に出かけたりします。



May MADSEN

2010年度WYS交換留学生

出身高校：Arendal Videregående Skole, Arendal, Norway

留学先高校：鳥取県立八頭高等学校（鳥取県・八頭郡）

ノルウェー

もしあなたが今と正反対の生活をしてみたいなら、ノルウェーはぴったりの場所でしょう。

ノルウェーでは、地域にクラブがありますが、学校にはクラブ活動がありません。日本と異なり、高校生でもアルバイトをすることができます。生徒達は多くの時間を友達と過ごし、ボーリングやコンサート、映画、ショッピング、食事などを楽しまします。日本からの留学生もどんどん活動に参加すれば、友達ができないのではないかと心配する必要はまったくありません。声をかけられたら、ポップコーンと楽しい気分を忘れずにね！！

They'll go bowling together, concerts, cinema, shopping even eating together! What's more different is that in Norway it is allowed for student to have part time jobs. All the concerts and movies do cost money and most of the Norwegian students do not rely on their parents, which is why most of them do part time jobs. But even when they're broke they'll still hang out with their friends because when you're broke everyone's broke. That's why when everyone's broke they'll have a movie night at someone's house or even a sleep over. So if you ever get asked to come, don't forget to bring some popcorn and good mood. So if you're worried about not getting a friend, do not worry about that. You should rather worry about being attacked with attention and friendly requests from both boys and girls that want to know about you.

さて、ノルウェーの高校には制服がありません。お化粧をすることや、携帯電話（もちろん授業中は使用できません）やラップトップを学校へ持っていくこともできます。学校の授業はほとんどが口述と読解から成り、テストはそれほど多くありません。また、ほとんどの生徒はバスや自転車（オートバイ）で通学しています。そう！ノルウェーの学校生活は、たくさんの友達に囲まれたおらかなものです。ノルウェーで1年間過ごしたら、きっと離れがなくなることでしょ。



尾崎 美咲 京都学園高等学校1年時に留学

2011年度WYS交換留学生

韓国 京畿（キョンギ）女子高等学校留学

韓国

●今学期の授業について（4月期・8月期のレポートより）

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri
8:30 ~ 9:20		数学	家庭A	国語A	科学D	韓国史
9:30 ~ 10:20		国語A	英語	数学	科学A	科学A
10:30 ~ 11:20		韓国史	韓国史	国語B	数学C	国語B
11:30 ~ 12:20		道徳	技術	英語	科学C	科学B
13:20 ~ 14:10		体育	韓国史	道徳	英語	数学
14:20 ~ 15:10		英語	数学	韓国史	韓国史	将来について
15:20 ~ 16:10		-	-	体育	-	-

* 50分授業です。

生徒数：1755名 教員：89名 1学年～3学年

2学期制（3/1-8/15 8/10-2/29）午前8時00分～午後3時10分

私の学校はクラブがありません。そのかわりに日本のサークルに似たものがあります。約20種類ほどあり、1週間に1回だけ活動します。文化祭では、このサークルのメンバーでアイスクリームを作ったり、店を出しました。

●後輩達へのアドバイス（12月期のレポートより）

留学生活は、初めての3・4カ月まではいい言葉が分らなくて、どうしようと悩むことも多いと思います。でも、半分過ぎると、親友もできて、ある程度話すこともできて、また環境にも慣れてくるので、半分から終わるまでの間はすぐに過ぎてしまいますよ。。私もあと1カ月しか残っていないのですが、時間が過ぎるのがすごい早いと思っています。あと1年で韓国にいたいぐらいです！！そして、悩むことがあったら、自分で考えるよりも友達に話すことができたなら楽になるかも。留学生生活を思いっきり楽しんでいたら、多分日本の家族を思い出さず暇もないので、ホームシックもなくなるかも、私みたいだね。それと面倒くさいかもしれないけど、毎日日記を書くのをすすめします。